

第37回奏楽堂トーク&コンサートシリーズ

# アジアの伝統・ アジアの現代 2017

2017年3月29日(水) 19:00開演  
(開場18:30)

オーストラリア・アボリジニーの  
不思議な民族楽器



ディジュリドゥ奏者を迎えて

～オーストラリアと日本の作曲家による室内楽作品演奏会～



**曲順未定**

ブルース・クロスマン：光の春へ — ハープのための

鍋島佳緒里：彼方から

ジョアンナ・セレック：黒オウムは森のフリーガン!

小川 類：モザイク アクア

アンドリアン・ペルトゥ：時の印象

松下 功：鳥たちの時間

**演奏**

多久潤一郎 (fl.bass, contrabass, alto-fl)

神田勇哉 (fl) 甲斐史子 (va) 高野麗音 (hp)

ナマチラ・モーガン (ディジュリドゥ)

お話：松下功 (作曲家)

**会場** 台東区生涯学習センター ミレニアムホール 入場料：**3,000円**

(全席自由・税込)

お問合せ・チケット前売り

一般社団法人日本作曲家協議会 03-6276-1177

✉ info@jfc.gr.jp concert@jfc.gr.jp

主催：一般社団法人日本作曲家協議会 (JFC)

共催：台東区

助成：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

一般社団法人 日本音楽著作権協会

後援：一般社団法人日本音楽作家団体協議会 (FCA) ・日本現代音楽協会

協力：メルボルン作曲家協会

# Asian Tradition / Asian Contemporary 2017

## - Australia and Japan -

これまでに韓国、シンガポール、台湾の作曲家たちとお互いの国を行き来して交流演奏会を行っている日本作曲家協議会。今回はメルボルンの作曲家協会とのコラボレーションで、2016年11月26日にオーストラリア、ヴィクトリア州のブライトンで、2017年の春に東京で、メルボルンからのディジュリドゥ奏者を招いてのコンサートを開催する。ミレニアムホールにどんな音が響くのだろうか?!

### プロフィール



#### Namatjira Morgan

ナマチラ・モーガン(ディジュリドゥ奏者)

誇り高いオーストラリア先住民族の演奏家である。マッティマッティ族とウェンバウエンバ族の両親に、ヴィクトリア州メアリーバラで生まれ、ベンディゴとシェパートンとで育つ。現在はメルボルン在住で、ヴィクトリアン・アボリジニ・チャイルドケア協会に5年間勤務している。ディジュリドゥ演奏や芸術作品の紹介を含めて、自身の所属コミュニティのために積極的に活躍している。



#### Bruce Crossman

ブルース・クロスマン

伝統的な太平洋の音楽とヨーロッパの技術の統合が、彼個人としてのアイデンティティの表現方法となっている。受賞歴としては、クイーンズランド交響楽団コーボルド賞(1996)、アルバート・マッグス激励賞(2004年メルボルン大学)、ファウンデーション・オーケストラ国際作曲賞(2004年アメリカ)など。現在はウェスタン・シドニー大学の准教授とコーディネーターである。



#### 小川 類 Rui Ogawa

日本大学芸術学部大学院修了。修了時に湯川制賞を受賞。CM、アニメ、J.ポップ、映画音楽、現代音楽、エレクトロニカなど多分野で活動している。ブルジュ国際電子音楽祭(仏)、ロゴス・ファンデーション・オーディオ・ビジュアルコンサート(ベルギー)、ISCM世界音楽の日々2011(ザグレブ)、ACLアジア音楽祭2013(シンガポール)、2014(横浜・東京)などで作品を発表。日本大学芸術学部音楽学科非常勤講師。



#### Andrián Pertout

アンドリアン・ペルトウ

2007年にトゥエドル信託、APAおよびMRS奨学金を以ってメルボルン大学で、ブレントン・ブロードストック指導のもと、博士号を修得する。これまでに多数の受賞歴がある。現在アジア作曲家連盟オーストラリア代表、メルボルン大学音楽院の名誉会員(2007年~2015年)、またメルボルン作曲家協会会長を2009年から2013年まで歴任。



#### 鍋島佳緒里 Kaori Nabeshima

1960年東京出身。武蔵野音楽大学音楽学部作曲科卒業。卒業以来放送業界でキャリアを積み、1996年にサントリーホール(小)個展演奏会にて作曲家デビュー。近年ではパリ国立高等音楽院を始め、欧米各大学で作品が卒業試験課題に取り上げられている。東京外国語大学百周年記念歌「世界をめざす若人」、ヒルトン東京ベイ委嘱の創立20周年記念「ティアラ・シンフォニー」等手がけている。第12回吹田音楽コンクール作曲部門第3位(1位なし)。



#### Johanna Selleck

ジョアンナ・セレック

ジョアンナは作曲家、フルーティストであるとともに音楽学者である。ブレントン・ブロードストックに学び、2006年にメルボルン大学で作曲において博士号を修得した。現在は同大学の名誉フェローとして作曲を教えている。ベリー・グレインジャー賞とアルバート・マッグス賞、そしてヴィクトリア州立図書館での2015年創造フェロウシップ賞など受賞。



#### 松下 功 Isao Matsushita

東京藝術大学、同大学院修了。ベルリン芸術大学に留学。以後86年までベルリンに滞在し創作活動を行う。86年、第7回入野賞受賞。98年に長野冬季オリンピック文化プログラム・オペラ「信濃の国・善光寺物語」や開閉会式選手入場の音楽を作曲。2000年、和太鼓協奏曲「飛天遊」が、ベルリンフィル・サマーコンサートで演奏され好評を博す。1999年—2004年、2014年~アジア作曲家連盟会長を務める。東京藝術大学副学長、東京藝術大学演奏芸術センター教授。作曲家。指揮者。日本作曲家協議会会長。